

Unified Functional Testing



株式会社 K-engine

日本の住生活産業の住宅建築会社の新築／リフォームビジネスを、クラウド技術を活用した次世代ITプラットフォームを通じて強力に支援し、ともに住生活産業にイノベーションを創造していきます。

所在地：東京都新宿区新宿1-4-12 新宿御苑ビル8F

設立：2011年8月9日

(本格事業開始日：2014年9月8日)

資本金：2,780百万円

URL：http://k-engine.jp

(取材日：2016年5月)

POINT

1 人手では膨大な工数が掛かるデータ登録作業を自動化、新サービスの早期リリースを実現

2 既存サービスのデータ登録作業を自動化、大幅な運用コスト削減を実現

3 様々なシステムの定型操作を自動化、業務効率化を達成

膨大な建材データベース登録の完全自動化と、迅速なクラウドサービスの立ち上げを Unified Functional Testing で実現

住生活産業向けに革新的なクラウドサービスを提供するK-engineでは以前、建材データベースへのデータ登録作業に膨大な時間と人件費を要していました。そこで従来テストツールとして利用していたUnified Functional Testing (以下 UFT) を応用。これにより完全自動化とその後の効率的なメンテナンス、新サービスの立ち上げを実現しました。

課題	対策	効果
<ul style="list-style-type: none"> ■新システムの商品データベースに短期間のうちにデータを登録する必要があった ■既存システムの商品データベースへのデータ登録作業に多大な工数が掛かっていた ■様々な業務においてシステムの定型操作作業に多くの工数が割かれていた 	<ul style="list-style-type: none"> ■機能テストツールとして利用していたUFTをシステム操作自動化へも応用 ■人手による商品データ登録作業をUFTによって自動化 ■商品データ登録以外の業務へもUFTによるシステム操作の自動化を順次適用 	<ul style="list-style-type: none"> ■UFTによるデータ登録自動化により、新システムでの実装期間が2年から2ヶ月に短縮 ■人手に頼っていたデータ登録作業を自動化、15名分ものコスト削減に成功 ■カタログサイトのチェック作業や定型入力作業を自動化、広範な業務効率化を達成

製品仕様マスターデータを Excel で抽出



UFT 端末



UFT で画面を介することにより、データ登録操作を自動化
 ✓自動化により工数削減
 ✓画面チェックを介してデータを登録できる

見積システム



見積金額、見積 No を出力してリフォームアクセルに連携

リフォームアクセル※



カタログ同等のバリエーションを即座に見積可能



リフォームアクセル利用ユーザ

※リフォームアクセル：K-engine社が提供する、リフォーム向け見積提案サービス

Unified Functional Testing

建材データベースへの 大量データ登録作業の効率化を模索

株式会社K-engineは、クラウド技術を活用して住宅産業に革新的なサービスを提供することを目指し、2014年9月に本格的に事業を開始した新興企業。同社のクラウドサービスを使い、PCやタブレット端末上で新築住宅の商談画面や住宅リフォームの完成イメージを作成すると、ほぼリアルタイムに工事の積算や見積もり処理を行うことができます。住宅建築会社、リフォーム関連会社および建築設計事務所は、このK-engineのサービスを使うことで施主に対して迅速かつ正確に見積もりや提案を行い、より多くの商機をつかめるようになります。

そうした同社のサービスを支えているのが、膨大なレコード数を持つ「建材データベース」です。新築やリフォームの見積もりを柔軟かつ正確に行うには、ユーザがより多くの建材の選択肢の中から好みのものを自由に選ぶことができ、かつそれらの種類や価格といった情報が常に最新の内容であることが重要です。そのため同社では、LIXILやTOTO、パナソニックといった国内主要建材メーカーの商品データ、約600万レコード取り込んだ巨大な建材データベースを運営しています。

しかしK-engine 技術本部 インフラ/WEB開発部部长 橋本健太郎氏によれば、このデータベース登録作業に実に多くの作業負荷が強いられており、問題になっていたと言います。

橋本氏 一部の建材に関しては、複数商品の組み合わせを個別にデータベースに登録する必要があり、その数が年々膨れ上がっていました。しかも登録画面で入力操作を行う際に入力値の自動チェック処理が行われるため、プログラムから直接データベースにデータを書き込むこともできません。やむなく人手によるデータ登録作業を協力会社に委託していたのですが、長い時間と高いコストを要しており、何とか効率化できないかと考えていました。

コストパフォーマンスと操作性に優れた Unified Functional Testingを採用

同社はちょうどそのころ、リフォームビジネス向けの新システム開発プロジェクトを立ち上げたばかりでした。すでに運用していた新築住宅ビジネス向けシステムと比べると、リフォームビジネス向けのシステムでは、商談の初期段階から細かな建材のチョイ

スや組み合わせを顧客に提案する必要があるため、建材データベースのレコード数が大幅に増えることが予想されました。もはや、手作業によるデータベース登録作業が限界を迎えていたのは明らかでした。

しかしデータ登録を自動処理するプログラムを一旦から開発すると、登録画面でのチェック処理との整合性を取る必要もあり、高度な開発スキルと高額な開発コストを要するのは必至でした。

そこで同社がとったもうひとつの選択肢が、画面へのデータ入力作業を自動実行できるITツールの導入でした。早速いくつかの製品を比較検討した結果、最有力候補として挙がったのが機能テストツール、Unified Functional Testing (以下 UFT) でした。この製品はもともと、画面操作をエミュレーションすることで機能テストを自動化するツールとして開発されましたが、現在では人手による画面操作を自動実行し、業務効率化を図るための仕組みとして導入されるケースが増えています。

同社のシステム開発部門では、すでに機能テスト用途でこのUFTを導入/利用していたため、これをデータ登録作業の自動化にも利用できないかと考えたのです。

橋本氏 UFTは簡単に使いこなすことができるため、運用の大部分を内製化できるのではないかと考えました。また、選定時に候補に挙がっていた他のツールと比べ、コストにおいてもメリットがありました。さらに、当時すでに開発スケジュールは逼迫していたのですが、アシストさんから「UFTなら今すぐにも導入作業をお手伝いできます」と提案していただいたこともあり、最終的にUFTを採用することに決めました。

初期データ登録作業が わずか2ヵ月で完了

データ登録のための自動処理スクリプトはアシストの技術者が作成し、K-engineの担当者がそれに対してさらに細かなカスタマイズを加えて、順次データの自動登録作業を実行していきました。その結果、人手では2年かかるであろうと考えられたデータ登録作業が、わずか2ヵ月で完了しました。こうして当初の予定通りに無事リリースされたリフォームビジネス向けシステムは、豊富な建材データの中から自由に組み合わせを選べる柔軟性を手に入れ、多くのユーザから好評を得ています。

現在では常時4台の端末上でUFTがフル稼働し

ており、新商材の登録処理や、すでに登録されている商材データの更新処理を自動実行しています。また、もともと他のシステムで行っていた人手でのデータベース登録作業もUFTによる自動登録に切り替えたことで、15名分もの人件費を削減できました。

さらには、データベース登録以外の用途でもUFTの利用が徐々に広がりつつあると橋本氏は述べます。

橋本氏 UFTの導入効果が社内で広く認知された結果、現在では各建材メーカーのカタログサイトのチェック作業を自動化したり、業務アプリケーションの定型入力作業を自動化するといった目的で、様々な業務現場でUFTが活用されています。こうした利用の大半を、ITにはさほど詳しくはない現場の従業員が主導で行えることも、使い勝手に優れるUFTならではの特徴だと思います。

UFTによる社内業務の効率化と さらなるビジネス成長へ

K-engineでは今後、UFTのメリットを生かして同社サービスの機能・品質をさらに拡充していくとともに、他の業務にも積極的に適用し、より多くの導入メリットを引き出していきたいと考えています。まずは開発テストにおける活用の徹底、営業や総務といった一般業務への適用を目指したいと橋本氏は抱負を述べます。

橋本氏 弊社はまだ設立から間もない会社なので、お客様に提供するサービスの品質向上やビジネス目標の達成に精一杯で、社内の業務効率化にはまだ十分に手が回っていません。しかし実際には様々な業務で定型作業が人手によって行われています。これらをUFTで自動化できれば、かなりの業務効率化効果が期待できるはずですよ。そうやって節約できた工数を、本来注力すべきサービス向上やビジネス戦略立案に充てることで、さらなるビジネス成長を目指していきたいですね。



橋本 健太郎 氏

お問い合わせは **株式会社アシスト**

URL <https://www.ashisuto.co.jp/prod/uft/> E-Mail sk_info@ashisuto.co.jp

東 京 〒102-8109 東京都千代田区九段北4-2-1 市ヶ谷東急ビル TEL: 03-5276-5565 大 阪 〒530-0011 大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワーA 13F TEL: 06-6373-7113
東 横 〒060-0003 札幌市中央区北3条西4-1-1 日本生命札幌ビル 13F TEL: 011-281-1161 広 島 〒730-0011 広島市中区基町12-3 COI広島紙屋町ビル 3F TEL: 050-3816-0974
仙 台 〒980-0013 仙台市青葉区花京院1-1-20 花京院スクエア 19F TEL: 050-3816-0970 福 岡 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-6-1 九勤筑紫通ビル 9F TEL: 092-481-7156
名古屋 〒460-0003 名古屋市中区錦1-11-11 名古屋インターシティ 4F TEL: 052-232-8211 沖 縄 〒900-0014 那覇市松尾1-10-24 ホークシティ那覇ビル4F TEL: 050-3816-0976
金 沢 〒920-0853 金沢市本町2-15-1 ボルテ金沢 8F TEL: 050-3816-0972

※本事例は取材時の内容に基づくものです。 ※製品内容は、予告なく変更される場合があります。 ※記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。 MF-004JUL18